

平成27年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市ふれあい科学館
施設区分	c．事業運営施設
指定管理者	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
Ⅰ．市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
Ⅱ．施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
Ⅲ．管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
Ⅳ．その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」	評価点 (100点満点)	総合評価 (S, A, B, C, D)
A（75点～90点）「標準より良好」		
B（60点～74点）「適正（標準）」		
C（45点～59点）「要指導」		
D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」		
	85	A

H27実績			
指定管理料	304,990 千円	(前年度比)	(11,919 千円)
利用者数	347,242 人	(前年度比)	(24,159 人)
事務手続き	届出・・・○	協議・・・○	報告・・・○

サービス向上対策	
内容	新規
ふくやま夢花火を最後まで鑑賞したいとの要望に応えるため、22階ロビーの開館時間を1時間延長し、21時までとした。	
ビッグアイ1、2階の科学館専用エレベーター扉の意匠を「宇宙飛行士」のデザインへ変更し、科学館の存在をPRするとともに、科学館へアクセスしやすくなった。	○
収益金を活用し、冬の企画展を初めて開催し（錯覚美術館）、冬のドーム映像投映とともに好評を博した。	○

評価概要
科学館全体の利用者数および利用料金等収入について震災後初めて増加となった。科学館は広報活動や営業を積極的に行っており、NEXCO東日本の「ドラぷら」で特定のICを指定すると必ず標記されるバナーを入れるなど、県外の誘客にも力を入れている。各自主事業でも、企業研究所や高校・大学との連携で魅力ある事業を展開しており、平成27年度はさらに連携する学校を増やした。なお、参加者実績数は計画数を上回っている。また、独自のアンケートを行い、指摘等があれば情報をスタッフ全員で共有し改善に向け迅速に対応するなど、サービス向上に努めている。展示等に変化はないが、科学館職員の努力によるソフト事業の充実や、手作りの展示物で来館者にタイムリーな宇宙や科学の情報を提供していること、国際宇宙ステーションとの交信や国際科学映像祭の会場となるなど積極的に事業を進めており、それらが起因となって来館者の増加につながったと考えられる。 今年度開館15周年を迎え、教育施設としての科学館の役割と、駅前・まちなか活性化の一端を担う役割を引き続き果たしていくため、継続的に集客を図るような事業等の在り方を検討する必要がある。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	A	—	—	—